

あとがき（文庫本の刊行にちなんで）

教師の「権威」というもの、それが児童・生徒に対するあらゆる指導力の根源であることは、申すまでもありません。私はこの教師の権威について学術的な研究を十二分に行ってから、「教師の権威と指導力」にかかわる啓蒙書『指導力の豊かな先生』（図書文化社 一九八八年）を上梓し、さらに月日を置いて、改訂増補版たる『先生、出番です！』（雇用問題研究会 二〇〇七年）を世に出しました。その折のあとがきです。

「指導力の源たる『教師の権威』に一点集中した『指導力の豊かな先生』（図書文化社）を上梓したのは、今から二十年前、一九八八年のことでした。ちょうど、世間を騒がす教育の話題が校内暴力からいじめ問題へと転じ、それに関連して教師の権威や指導力が社会的にも大きく取り上げられ始めた頃で、その後平成二二年まで、ささやかながら、七刷の版を重ねました。

この間、読者の皆様方から、さまざまなコメントを頂戴しました。そこで特筆されるのは、感想、ご意見、賛辞、ご批判など多様な内容にまじって、ほとんどの方からほぼ一貫して、いじめや不登校などの問題行動に的を絞ったさらなる指導の実践書を望む声が寄せられてきたことです。実は私もまた、『指導力の豊かな先生』を成した直後から、実践編に向けての執筆意欲を持っていたので、このことはいつそう強く私を動機づけることになりました。しかし、遺憾にも長い

間、それを実現する機会を捉えることができないまま、時が経っていききました。

それが昨今、急速に時機到来となりました。昨年来、いじめ被害自殺者が連続的に発生して社会問題化し、「教師の指導力」と「いじめ解決」の問題が政府の「教育再生会議」やマスコミ、そのほかたくさんの方々の各種教育会議で核心のテーマとして取り上げられ、にわかに緊急焦眉の教育社会問題となりました。二十年前に議論が生じた、古くて新しい二つの問題がいっそう深刻かつ鮮明な教育問題として沸騰してきたのです。私は今こそ書くべき、書かねばならないときと決断しました。『先生出番です!』はこうして生まれました。

本書は、『指導力の豊かな先生』をベースにいじめ対策・指導の実際を加えた、いわば『指導力の豊かな先生』の増補改訂版でもあります。私はこれを「教師の指導力といじめ対策はこの一冊で学ぶ」の思いで一氣に書き上げました……」

本書は、この『先生、出番です!』の文庫版です。そして、これを機に、『教師の権威と指導力』と改題しました。教師のあらゆる指導力の根源「権力にあらざる教師の権威」、その教育臨床的な意味と意義を改めて世に問いたかったからです。なお、増補改訂のときに割愛した『指導力の豊かな先生』の最終章を再録いたしました(第二部第5章)。

平成二四年五月

宗内 敦